

書面添付シンポ開く

TKC中部会

【名古屋】TKC中部会（木村茂徳会長）は8月6日、名古屋市内の名鉄ニューグランドホテルで「書面添付シンポジウム」を開催した。オンラインでの参加も含め約300人が出席した。

木村会長の開会挨拶の後、名古屋国税局課税総括課の天野秀紀氏が「書面添付制度と意見聴取制度の現状」をテーマに講演。パネルディスカッションでは、金融機関から高山信用金庫がパネリストとして登壇。北村卓哉・TKC中部会書面添付推進委員長がコーディネーターを務め「信頼性の高い決算書と中小企業支援の実例」をテーマに議論した。

最後に、森裕一・東海財務局金融調整官が「コロナ禍の地域金融に求められる役割」として、各地域で開催される事業者支援等の取り組みについて情報を共有した。